

読書界



みなさん、世間はクリスマス一色ですね！！というわけで、
今回はクリスマスに関する本を紹介していきます！！

ファザー・クリスマス ～サンタ・クロースからの手紙～ J・R・R・トールキン
二年六組 櫻井 愛弓

みなさんは Father Christmas が何のことかわかりますか？これは、日本ではサンタ・クロースのことを意味します。この本には、作者が四人の子供達のために、サンタになり変わって送った手紙が載せられています。まだサンタを信じていた子供の頃を思い出せる、心があたたかくなる一冊です。ぜひクリスマスに手にとって読んでみてください。



これならわかるキリスト教とイスラム教の歴史 浜林 正夫
二年七組 山口 大旗

クリスマスとは、キリスト教の創始者であるイエス＝キリストの誕生を記念する祝祭です。この本は、そのキリスト教に加えて、イスラム教の歴史も解説してあります。その上、Q&A形式になっているので、本のどのページを開いてもサクサク読めます。「イエスというのはどういうことをした人か」ほんの一例ですが、とてもわかりやすく解説してあるので、社会科の調べ学習で図書館に来た時も、ぜひこの本を活用してみてください。



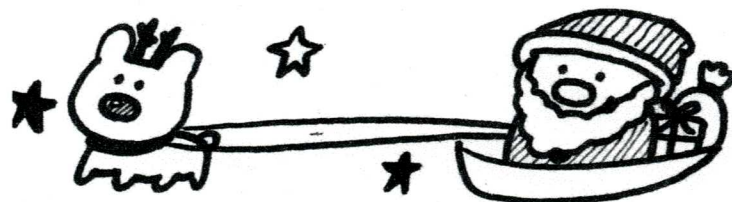
藤野真紀子のお菓子のレシピ 藤野真紀子
二年七組 木原 健仁

世間はもうクリスマス一色！もう待ちきれないって人もたくさんいると思いますが、ここで一つ、家族や友人・恋人との楽しい一夜を過ごすためにも、クリスマスケーキを自分で作るというのはいかがでしょうか？この本には、そういったケーキ全般からお菓子まで、豊富にそろっています。去年までとは違ったクリスマスを、ぜひ！



クリスマス・ボックス リチャード・P・エヴァンズ
二年九組 川口 奈々

「この世で最初のクリスマスの贈り物は何だったか？」ある日、主人公のリチャードに向けて老婦人から投げかけられた不思議な質問。この言葉をきっかけに、リチャードは「家族」について学んでいきます。この本を読みながら、リチャードと一緒に考えてみてください。そして、老婦人が本当に伝えたかったことを感じ取ってください。



Merry Christmas!!